

令和3年安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰



令和3年10月15日 於：首相官邸

令和3年安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰

受賞者名簿

(個人、団体の順に五十音順)

【防犯活動】

- |   |                  |         |
|---|------------------|---------|
| 1 | 安行車両パトロール隊       | (埼玉県警察) |
| 2 | 牛久市防犯連絡員協議会      | (茨城県警察) |
| 3 | 大殿地区安心のまちづくり委員会  | (山口県警察) |
| 4 | ガーディアン大野青色パトロール隊 | (熊本県警察) |
| 5 | 金橋小学校区地域福祉推進委員会  | (奈良県警察) |
| 6 | しまね防犯サークルSCOT    | (島根県警察) |
| 7 | 地域安全すみれ会         | (三重県警察) |
| 8 | 浪江地区防犯指導隊        | (福島県警察) |

【再犯の防止等に関する活動】

- |   |                      |            |
|---|----------------------|------------|
| 1 | 谷村新司                 | (法務省保護局)   |
| 2 | 堂本暁子                 | (法務省矯正局)   |
| 3 | 野田豊秋                 | (佐賀県警察)    |
| 4 | 更生保護法人滋賀県更生保護事業協会    | (大津保護観察所)  |
| 5 | 新宿区保護司会              | (新宿区)      |
| 6 | 特定非営利活動法人いのちのミュージアム  | (法務省矯正局)   |
| 7 | 特定非営利活動法人くらし応援ネットワーク | (名古屋地方検察庁) |
| 8 | 西区BBS会               | (横浜保護観察所)  |

※括弧内は推薦団体

## 功 績 概 要

推 薦 者	埼玉県警察
団 体 名	安行車両パトロール隊
所 在 地	埼玉県草加市
代 表 者	荒木 仁
功 績 の 概 要	<p>平成17年、「安行ブロックパトロール隊」として設立、平成29年に現在の団体名称となる。</p> <p>毎日、小学校の登下校時間帯における立哨活動、週2回、青色防犯パトロール車による見守り活動を実施するほか、週4回、主に夜間帯に青色防犯パトロールを実施。</p> <p>週1回、警察と連携し、特殊詐欺被害防止を目的とした戸別訪問を実施しており、令和元年5月から令和2年9月までに延べ約2,300世帯を訪問。</p> <p>平日は、事務局に隊員が常駐し、地域住民からの相談への対応や声掛けを積極的に行うなど、地域に根ざした防犯活動を展開。</p> <p>地元の祭事「草加宿場まつり」では、ボーイスカウトや小学生らとともに防犯パレードに参加し、子供やその保護者、地域住民らの防犯意識の向上やボランティア活動の裾野拡大に寄与。</p> <p>毎年、地区内小学校で実施される感謝集会に隊員が招待されるなど、児童と顔の見える関係を構築。</p> <p>設立当時、4町会であったが、近隣団体への積極的な働き掛けにより14町会まで活動地域を拡大するなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	茨城県警察
団 体 名	牛久市防犯連絡員協議会
所 在 地	茨城県牛久市
代 表 者	原口 隆男
功 績 の 概 要	<p>昭和48年に設立、地区の市制施行等を経て、現在の団体名称となる。</p> <p>毎日、小学校の登下校時間帯における見守りや青色防犯パトロールを実施。</p> <p>夏休み期間中には、地区内駅周辺において、自転車盗被害防止活動として、徒歩及び青色防犯パトロールを実施するほか、ワイヤーロック等の啓発グッズを配布。</p> <p>中学生と共同した活動として、防犯連絡員や警察と一緒に戸別訪問を行う「中学生による一日防犯連絡員活動」やイベント会場で各種犯罪被害防止啓発を行う「かっぱ祭り防犯キャンペーン」を実施しており、若い世代の防犯意識の向上と地域の連帯感の醸成に寄与。</p> <p>民生委員や警察と連携し、高齢者宅を訪問して直接特殊詐欺や空き巣被害防止を呼び掛ける「一人暮らし高齢者宅訪問防犯活動」を実施。</p> <p>小学校や警察と連携の上、防犯連絡員が小学校を訪問して、新入学児童に防犯標語の入った下敷きを配布するなど、地域一体となった活動を展開しており、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	山口県警察
団 体 名	大殿地区安心のまちづくり委員会
所 在 地	山口県山口市
代 表 者	田坂 健次
功 績 の 概 要	<p>平成16年、悪化する治安への不安感の高まりを受けて、地元の有志や防犯連絡所指導員等による団体として設立。</p> <p>毎日、小学校やPTAと連携し、登校時間帯における立哨による児童の見守り、青色防犯パトロールを実施するほか、公園や通学路等の危険箇所点検を実施。</p> <p>月2回、商店街や住宅街における徒歩パトロールのほか、年金支給日に大型商業施設や金融機関等で特殊詐欺被害防止広報啓発活動を実施。</p> <p>地元の大学生等と連携し、JR山口駅駐輪場等における放置自転車の撤去作業を行うなど、環境整備活動に積極的に取り組むほか、駐輪場利用者に対する自転車盗被害防止啓発活動を実施。</p> <p>県警本部を訪問し、通信指令室の見学や通報状況について教養を受けるなど、高い防犯意識を維持した上で活動を展開。</p> <p>地域の子供やその保護者を対象としたイベントを主催し、登下校時における安全確保や交通事故防止、自転車盗被害防止等の総合的な防犯広報を実施するなど、地域住民が日常的に防犯を意識するための取組を推進しており、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>





## 功 績 概 要

推 薦 者	熊本県警察
団 体 名	ガーディアン大野青色パトロール隊
所 在 地	熊本県玉名市
代 表 者	田添 通朗
功 績 の 概 要	<p>平成18年、児童の安全確保を目的に「ガーディアン大野」を設立、平成19年に青色防犯パトロール車両を導入したことを契機に、現在の名称となる。</p> <p>毎日、小学校の登下校時間帯における立哨活動、青色防犯パトロールを実施するほか、各校区長が地域住民に呼び掛け、小学校前での見守り活動を実施。</p> <p>毎年、小学校において、「学校応援団・感謝の会」を開催、隊員と児童が意見交換を行い、お互い顔の見える関係を構築しているほか、青色防犯パトロール車両を小学校内に駐車しているところ、同小学校の6年生が全員で交代し洗車を行うなど、自主防犯活動へ参画する意識付けが自然と行われている。</p> <p>駅駐輪場で自転車盗難被害が多発したことを受け、無施錠の自転車に駅管理の鍵をかける「勝手に鍵かけ運動」を展開するほか、自治体に働き掛けて防犯カメラの増設を実現するなど、自転車盗被害防止活動を強力に推進。</p> <p>犯罪抑止対策として「青色防犯灯」を地域内の危険箇所を中心に設置するなど、自治体・地域住民一体となり犯罪の起きにくい環境づくりを推進しており、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	奈良県警察
団 体 名	金橋小学校区地域福祉推進委員会
所 在 地	奈良県橿原市
代 表 者	榊谷 佐千代
功 績 の 概 要	<p>平成16年、安全安心なまちづくりを目的に、自治会有志等地域住民により設立。</p> <p>毎日、小学校の登下校時間帯における立哨・付き添い活動、青色防犯パトロールを実施。</p> <p>「環境美化は防犯につながる」という考えの下、毎年、地元企業の協力を得て、「ウォーキング・クリーンキャンペーン」を開催。</p> <p>毎年、防犯講習や防災訓練に加え、園児の合唱や子供太鼓、中学生の吹奏楽演奏などが披露される「夢と希望の新しいまちづくり懇談会」や活動資金の確保につながる「バザー」を開催。</p> <p>年4回、「金橋オアシスだより」により、地域行事や防犯情報を発信しているほか、設立10周年時に「金橋小学校区福祉行動計画」を作成し、地区内全戸に配布するなど、地域住民の防犯意識の向上に寄与。</p> <p>平成23年、県から「奈良県安全安心まちづくりアドバイザー」の委嘱を受け、防犯ボランティア団体の立ち上げや取組方法へのアドバイスを行うことで県内の防犯ボランティア活動の活性化を図るなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	島根県警察
団 体 名	しまね防犯サークルSCOT
所 在 地	島根県浜田市
代 表 者	尾田 真慧
功 績 の 概 要	<p>平成22年、島根県立大学内の自主防犯同好会として設立（「SCOT」は「Social Communicate Offering Team」の略）。</p> <p>週2回、小学校の下校時間帯における見守り活動を実施しており、声掛け事案等の発生があれば、毎日実施。</p> <p>週1回、夕刻に大学職員、地域住民、警察と連携し、合同パトロールを実施するほか、月3回、地元ボランティア団体が主催する繁華街パトロールに参画。</p> <p>小学校の誘拐被害防止訓練、中学校のネットモラル教室、大学生を対象としたオンデマンド防犯教室等に指導員・講師として参加。</p> <p>県及び外郭団体から委託を受け、交通安全上の危険箇所、見通しの悪い防犯上の危険箇所、子供110番の家のある場所等を記載した防犯マップを制作。</p> <p>日々の活動をSNSで発信し、若い世代への働き掛けを積極的に行っているほか、各種フォーラムでの活動報告や研修会への参加など、地域における防犯ボランティア活動の活性化に寄与しており、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	三重県警察
団 体 名	地域安全すみれ会
所 在 地	三重県四日市市
代 表 者	山崎 幸枝
功 績 の 概 要	<p>平成8年、安全で安心な地域社会づくりを推進することを目的に、「笑顔で」、「できる時に」、「気軽に」、「いつでも」をモットーに、女性のみで構成される団体として設立。</p> <p>地区内の保育園、幼稚園の保護者総勢約430名で結成された「買物パトロール隊」が、団体のシンボルマークのバッチを身に付けて、徒歩や自転車等で行う「ながらパトロール」を展開。</p> <p>地区の子供と一緒に地区内を歩いて回り、警察設置の街頭緊急警報装置の見学や作動状況を体験する「まちなか探検」を開催。</p> <p>月1回、高齢者を対象とした「すみれサロン」を開催し、特殊詐欺や悪質商法等に係る防犯講話や教室を実施。</p> <p>通学路等を点検の上、防犯上危険と感じる箇所を記載した「地域安全マップ」や買物パトロール隊の活動結果等を記載した「買物パトロールだより」、団体の活動状況を記した「とみだ防犯・交通安全グラフティ」を配布するなど、防犯情報を積極的に発信。</p> <p>地元の夏祭りや体育祭などの行事に積極的に参加するなど、地域住民と一体となった活動を推進しており、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>





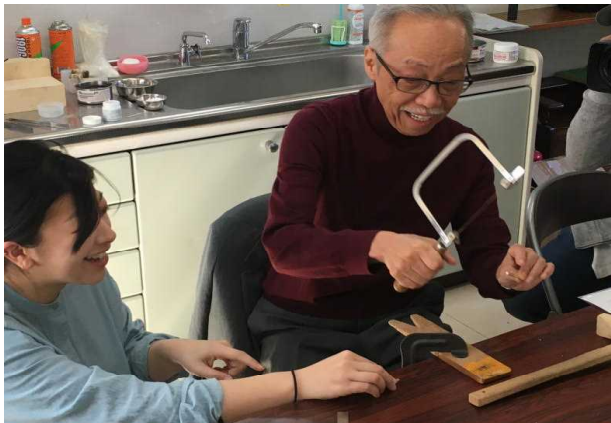
## 功 績 概 要

推 薦 者	福島県警察
団 体 名	浪江地区防犯指導隊
所 在 地	福島県双葉郡
代 表 者	鈴木 正典
功 績 の 概 要	<p>平成6年、浪江町・双葉町・葛尾村の住民により設立、隊員を増加させながら活発に活動展開していたところ、平成23年に東日本大震災が発生。全隊員が町村外での避難生活を余儀なくされる中、避難先での住民の安全安心確保を目的に被災後半年で活動を再開。令和2年には、3町村の居住制限が解除（一部地域を除く。）されたことを受け、更に活動を本格化。</p> <p>立入り制限地域等で空き巣被害が多発したことを受け、警察と連携した合同パトロールを実施。</p> <p>避難先の仮設住宅や復興公営住宅の戸別訪問を実施し、避難先で孤立するおそれのある独居高齢者の安否確認や話相手になるなど、地域コミュニティーの構築に貢献。</p> <p>随時、小学校周辺での立哨・見守り活動を実施するほか、毎月10日の「地域安全運動合同パトロール」、毎月15日の「金融機関及びコンビニエンスストア等に対する防犯活動」など、警察と連携した活動を実施。</p> <p>毎年開催される、地元ゆかりの祭礼「復興なみえ十日市」において防犯警戒を実施。</p> <p>今なお、避難生活が続く中、住民の安全安心を確保し、心の支えとなる活動を継続しており、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	法務省（保護局）
氏 名	谷村 新司
職 業	音楽家／シンガーソングライター
功 績 の 概 要	<p>平成21年に、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生に関する国民的理解の促進を図ることなどを目的とした“社会を明るくする運動”の広報ポスターに出演したことをきっかけとして、法務大臣からの要請を受け、平成22年に同運動のフラッグアーティストに就任。</p> <p>平成22年に、同運動の応援ソング「咲きほこる花のように」を制作したほか、同運動の強調月間である7月に開催される東京・有楽町での街頭広報活動への参加、同運動の広報ポスターやCM動画への出演、法務省や首相官邸でのイベントによる発信などを通じて、同運動の展開に尽力。</p> <p>また、平成27年からは、「こころをつなぐプロジェクト」として、犯罪や非行から立ち直ろうとする人を支える現場や、地域の生きづらさに寄り添う居場所づくりの現場を訪問し、活動に尽力されている更生保護ボランティア等に対してエールを送るなど、こころをつなぐ活動を展開。</p> <p>国民的アーティストとして、地域の絆とコミュニティづくりを担う民間協力者の活動を発信し、国民の関心と理解の促進に貢献するなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	法務省（矯正局）
氏 名	堂本 暁子
職 業	団体役員
功 績 の 概 要	<p>平成25年に、女子刑事施設が抱える課題を解決することを目的として、様々な分野の有識者等からなる「女子刑務所のあり方研究委員会」を設立し、委員長に就任。同年3月には、同委員会で女子刑務所改革に関する要望書を取りまとめ、法務大臣に提出し、厚生労働省及び施設所在自治体との連携体制、地域の専門職種による指導・支援の枠組みの構築の必要性を提言。</p> <p>その後も、法務大臣に対する改革に向けた要望書の提出や、女子刑事施設が所在する地方公共団体の首長に対する専門職種による支援体制構築への協力要請等、女子刑事施設の運営改善等に向けた取組に尽力。</p> <p>平成29年2月以降、再犯防止推進計画等検討会の有識者構成員を務め、「再犯防止推進計画」の策定及び同計画に掲げられた施策の推進に寄与。平成30年には、兵庫県明石市における「明石市更生支援・再犯防止等に関する条例検討会」にオブザーバーとして参画するなど、地域社会における再犯防止の推進にも尽力。</p> <p>参議院議員や地方公共団体の首長の経験を生かし、国、自治体、関係団体、地域の専門職種等が連携した再犯防止施策の推進・展開に向けての大きな原動力となるなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	佐賀県警察
氏 名	野田 豊秋
職 業	会社役員（野田建設株式会社代表取締役）
功 績 の 概 要	<p>昭和52年に、佐賀県警察から「少年補導員」の委嘱を受け、令和2年に定年により退任するまでの43年間、精力的に活動。</p> <p>夜間街頭補導活動及び登下校時間帯の見守り活動等を年間約50回行ったほか、問題を抱えた少年や家族から相談を受けるなど、継続的な支援を実施。また、警察が行う「居場所づくり活動」に100回以上参加し、少年の非行・再非行防止に尽力。</p> <p>平成13年頃からは、自身が経営する建設会社において、非行少年らに就労体験の機会を付与。</p> <p>平成22年に九州少年警察ボランティア協会役員に就任して以降は、九州全体の少年補導員を統率し、九州各県と共同した「居場所づくり活動」を実現。</p> <p>令和2年に「少年補導員」を退任後も、佐賀県少年補導員連絡協議会の相談役に就任し、後進の育成に努め、少年の非行防止活動を推進。</p> <p>長年にわたり、地域に根差した再非行防止のための活動によって、犯罪や非行に強い明るい地域社会の実現に向けて取り組むなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>





## 功 績 概 要

推 薦 者	法務省（大津保護観察所）
団 体 名	更生保護法人滋賀県更生保護事業協会
所 在 地	滋賀県大津市
代 表 者	大道 良夫
功 績 の 概 要	<p>昭和14年に、前身となる滋賀司法保護委員事業助成会が組織され、以後、刑事施設出所者等に対する生活相談等を行うとともに、滋賀県内の更生保護団体への資金助成等により、更生保護団体の活動を支援。</p> <p>平成30年から、法務省が実施した「地域再犯防止推進モデル事業」の一つとして滋賀県が取り組んだ「再犯防止地域支援員設置事業」を受託し、同事業を実施。具体的には、犯罪をした者等の円滑な社会復帰を促進するための支援員を配置し、協力雇用主が刑務所出所者等を雇用する際の相談対応、協力雇用主等研修会の開催、薬物事犯者の断薬支援のための医療機関の開拓などを行い、地域における支援体制の構築に貢献。</p> <p>また、令和元年度から、休眠預金等活用に関する制度を利用した「更生保護団体による息の長い支援基盤整備事業」を企画・展開し、保護観察終了者を含めた生きづらさを抱えた者への支援活動に対する助成を通じて、滋賀県内の更生保護団体を支援。</p> <p>長年にわたり、再犯防止に関連する団体の活動の支援を行うとともに、再犯防止に係る先進的な取組を主体的に実施するなど、地域における再犯防止の活動を推進し、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	新宿区
団 体 名	新宿区保護司会
所 在 地	東京都新宿区
代 表 者	高山 俊達
功 績 の 概 要	<p>昭和28年に設立され、以後、更生保護に関する調査研究、保護司の資質向上のための研修会の開催、再犯防止や青少年の健全育成のための活動等を実施。</p> <p>毎年7月には、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生に関する国民的理解の促進を図ることなどを目的とした“社会を明るくする運動”の強調月間に合わせて、「新宿区広報パレード・式典」を開催し、新宿区、教育委員会、警察等と連携し、約1,200名で新宿通りの行進を行うなど、再犯防止等に向けた大規模な啓発活動を実施。</p> <p>また、協力雇用主と定期的に情報交換の機会を設け、保護観察対象者等のためより多くの情報を得るなどして、就労支援を強化しているほか、保護観察終了後にも更生保護施設と協力して定期的に生活相談の機会を設け、犯罪をした者等への息の長い支援を実施。</p> <p>長年にわたり、地域の関係団体等と連携しながら、再犯防止等のための活動を展開するなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	法務省（矯正局）
団 体 名	特定非営利活動法人いのちのミュージアム
所 在 地	東京都日野市
代 表 者	鈴木 共子
功 績 の 概 要	<p>平成13年に交通事故遺族16名で前身となる「生命のメッセージ展」を発足した後、平成21年に現法人を設立し、廃校を利用した「いのちのミュージアム」の運営を開始。交通犯罪等の犠牲者の等身大人型パネル等を展示する「生命のメッセージ展」を開催するほか、映像、講演及び生命のメッセージ展を組み合わせた「いのちの授業」等の活動を実施し、平成25年からは、犯罪被害者の支援も実施。</p> <p>また、矯正施設における「被害者の視点を取り入れた教育」等の指導に協力し、平成25年度から同29年度までの5年間、全国の矯正施設124庁において「生命のメッセージ展」を開催。</p> <p>矯正施設での展示では、受刑者等が、交通犯罪等の犠牲者のメッセージに触れ、理不尽に生命を奪われた犠牲者の生涯や無念、犯罪被害者遺族等の心の痛みに気づき、自身の加害行為を改めて振り返る機会となっており、再犯防止に向けた指導・教育に貢献。</p> <p>犯罪等の被害者の立場から、再犯防止に向けた啓発活動を展開するとともに、刑事施設等における指導の充実に寄与するなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	法務省（名古屋地方検察庁）
団 体 名	特定非営利活動法人くらし応援ネットワーク
所 在 地	愛知県名古屋市
代 表 者	岡部 昭子
功 績 の 概 要	<p>平成14年、障害を持つ人達が、住み慣れた地域で自立した生活と社会参画の活動ができる支援事業を行うこと等を目的として設立され、以降、障害者の就労支援・雇用支援を実施。</p> <p>平成22年からは、支援対象を高齢者にも広げ、愛知県地域生活定着支援センターとして事業委託を受け、様々な理由で出所後に自立した生活が難しい高齢者や障害者への支援を実施。</p> <p>平成30年には、法務省が実施した「地域再犯防止推進モデル事業」の一つとして名古屋市が取り組んだ「伴走型入口支援事業」のコーディネート機関としての委託を受け、起訴猶予処分となった者のうち福祉的支援を必要とする高齢者・障害者等を対象に、福祉的支援への調整及び約6か月間の継続的な支援を実施。</p> <p>同モデル事業終了後も、名古屋地方検察庁と連携し、釈放予定の被疑者を必要な福祉的支援につなぐ協力体制を維持し、令和2年度は、生活保護再開手続や愛護手帳の取得手続の補助支援等を14件実施。</p> <p>福祉関係分野から再犯防止分野にも活動領域を広げ、両分野の橋渡しをして、先進的な取組を行うなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>





## 功 績 概 要

推 薦 者	法務省（横浜保護観察所）
団 体 名	西区BBS会
所 在 地	神奈川県横浜市
代 表 者	橋本 夏希
功 績 の 概 要	<p>昭和55年に発足以来、保護観察所や家庭裁判所からの依頼により、非行少年の相談相手となる「ともだち活動」を行うなど、非行少年に対する継続的な支援を実施。</p> <p>また、保護司会と連携しての各種広報啓発活動を展開。近年は、同世代の若者向けに、様々なSNSを活用した情報発信を実施。令和2年には、西区BBS会発足40周年記念事業として、地域住民等220名の参加を得て、女子少年院を経験した少女を追ったドキュメンタリー映画「記憶」の上映会及び同映画の監督等をパネリストに迎えたトークセッションを開催し、非行少年の実情と地域の受け入れの重要性を若者の立場から訴えかける啓発活動を実施。</p> <p>加えて、西区BBS会出身者が活動経験を生かして、同区の保護司に就任し、保護司会と連携して活動を行うなど、地域の更生保護の担い手として息の長い取組も実施。</p> <p>長年にわたり、関係機関との連携の下、学生や20代の青年といった若者が会の中心という団体の特色をいかして、地域における再非行防止に取り組むなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>

